

陸上競技要項

令和8年度

1【期日・時間】

- | | | |
|---------|----------|------------------------|
| (1) 第1日 | 5月23日(土) | 10:00~17:00(開会式 9:00~) |
| (2) 第2日 | 5月24日(日) | 10:00~17:00 |
| (3) 第3日 | 5月25日(月) | 10:00~16:00 |
| (4) 予備日 | 5月26日(火) | |

2【会場】

春野総合運動公園 GIKEN スタジアム (陸上競技場)

3【種目】

(1) 男子

②100m	③200m	①400m	②800m	①1500m	③5000m	①110mH
②400mH	②3000m S C	①5000mW	①400mR	②③1600 mR	②走高跳	
①棒高跳	①走幅跳	③三段跳	②砲丸投	②円盤投	①ハンマー投	
③やり投	②③八種競技	(以上 21 種目)				

(2) 女子

②100m	③200m	①400m	②800m	①1500m	③3000m	③100mH
②400mH	①5000mW	①400mR	②③1600 mR	②走高跳	②棒高跳	
①走幅跳	③三段跳	③砲丸投	①円盤投	①ハンマー投		
②やり投	①②七種競技	(以上 20 種目)				

(注意)

- ※ ①印は1日目、②印は2日目、③印は3日目に実施予定の種目とする。
- ※ 男子八種競技は、2日目に100m、400m、走幅跳、砲丸投を実施し、3日目に1500m、110mH、走高跳、やり投を実施する。
- ※ 女子七種競技は、1日目に200m、100mH、走高跳、砲丸投を実施し、2日目に800m、走幅跳、やり投を実施する。
- ※ トラック種目については、予選、決勝とする。ただし、参加人数によって7組以上になれば、男女とも100m・200m・400mについては準決勝を行い、男子の5000m、女子の3000mは決勝のみの予定であるが、競技予定前日に予選を行うこともある。

4【競技規定】

2026年(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会競技規則による。

5【参加資格】

- (1) 高知県高等学校体育大会一般要項に従う。
- (2) NPO 法人高知陸上競技協会の令和8年度登録者であること。

6【参加制限】

- (1) 参加者は1種目1校3名以内とし、リレーは1校1チームとする。
- (2) 同一人の出場は、リレーを除き3種目以内（補欠申込も3種目の中に入る）とする。
- (3) 補欠は各種目とも1名以内とする。
- (4) 外国人留学生については、1校男子4名、女子3名以内とし、1種目1校1名の出場（この種目には、リレーも含む）とする。ただし、リレーに出場する場合には、個人種目と合わせて1校男子最大4種目、女子最大3種目とする。

7 【競技方法】

- (1) 学校対抗とする。男・女別に合計得点によって学校順位を決定する。
- (2) 各種目の得点は、1位8点、2位7点・・・7位2点、8位1点とする。ただし、混成競技については、総合得点のみに加える。

8 【参加申込】

- (1) 申し込みファイルを電子メールで送ること。
※メール送信先 kaaf56@yahoo.co.jp（NPO 法人高知陸上競技協会）
- (2) メール送信した申し込みファイルをA4に印刷し、学校長印を押印して、高知県高体連事務局へ提出すること。なお、各種目の補欠選手並びに審判補助員については、別紙様式に記入して申し込みをすること。
- (3) 個人種目については、2025・2026年度公認最高記録を入力すること。
- (4) リレー種目については、記録（持ちタイムのないチームは予想記録でも可）を必ず入力すること。

9 【表 彰】

- (1) 男女とも総合優勝校には、優勝杯、優勝旗（持ち回り）を授与する。
- (2) 男女とも総合、トラック及びフィールドの1，2，3位校には賞状を授与する。
- (3) 男女とも各種目3位まで賞状を授与する。
- (4) 男女とも最優秀選手者の表彰を行う。

10 【四国大会出場資格】

本大会6位までの入賞者は四国IHに出場できる。ただし、走高跳・棒高跳は、6位までの入賞者6名（女子棒高跳は4位までの入賞者4名）とする。また、女子三段跳、女子ハンマー投、男女混成競技については4位、男女競歩は5位までとする。
なお、該当校の責任者は、参加申込書を大会本部で必ず受け取ること。

11 【連絡事項】

- (1) アスリートビブスは各学校で登録した番号を使用し、一覧表並びに個人票に入力すること。
- (2) 選手交代は、申込をした補欠選手に限る。
- (3) 棒高跳用のポールは各自持参すること。
- (4) 申し込み後での棄権のないように留意すること。
- (5) スパイクの使用については、オールウエザー用9mm以下のピン（審判員がチェックを行う）を必ず使用すること。
- (6) 走高跳、やり投のスパイクピンは12mm以下とする。
- (7) 審判補助員については、参加校より3名以上の生徒の氏名を申込書に記入してください。なお、やむを得ず補助員が出せない学校については、専門委員長まで連絡をすること。
- (8) 投てき器具は、競技場備え付けのものを使用すること。
- (9) 各学校及び各自で持ち込んだゴミ、カン、ビン類は責任を持って持ち帰ること。